



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

5月号

令和5年4月28日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校HPのQRコードはこちら→



「認め合い、学び合う子」をめざして

校長 田島 馨

道沿いの色とりどりのツツジの花が今が盛りと咲き誇り、季節の移ろいの早さを感じさせます。新年度が始まって1か月が過ぎ、子どもたちは新しい学年、学級で日々熱心に学び、活動しています。

4月17日(月)には、児童の運営による「1年生を迎える会」が行われました。6年生に手をつないでもらい、全校児童が協力して制作した花のアーチをくぐって入場し、横1列に並んだ1年生。恥ずかしそうでありながらもどこか誇らしげな表情から、桂小への仲間入りを実感した喜びが伝わってきました。各学年からの歓迎の言葉の後は、学年を超えて仲間をつくって集まるゲームを楽しく行いました。やはり、ここでも6年生はさすがです。進んで下級生に声をかけ、仲間に入れない子がいないように気を配ってゲームを進める姿が見られました。ゲームの後は「1年生からの言葉」。言葉だけでなく、元気な声で「さんぽ」を歌い、気持ちを表してくれました。



翌週の25日(火)は、1年生が初めて参加する全校朝会。その中で、学校教育目標の「互いのよさを認め合い、生き生きと学び合う子」についての話をしました。学校教育目標は、校長室を含め、校内の目に触れやすいところ数か所に掲示してあります。子どもたちが、この目標を自分の目標としてとらえ、育っていくことができるように、「互いのよさを認め合う」とは、どのようなことなのかを問いかけ、考えてもらいました。

また、大リーグで活躍している大谷選手についての話もしました。大谷選手はプロ野球選手になるために必要なことを自分で分析し、8つの大きな目標を立て、それに向けて努力を重ねたそうです。プロ野球選手を目指すのですから、もちろん、自分の体づくりや投手としての目標が半数以上を占めています。しかしながら、「人間性」を磨くことも大きな目標として設定し、努力したということです。なぜ、「人間性」を磨くことがプロ野球選手を目指すために必要なのでしょうか。

言うまでもなく、野球はチームの一人ひとりが役割を果たし、協力することが必要なスポーツです。いくら投手が一人で頑張ったとしても、他のメンバーがそれぞれの強みを発揮し、チームとして力を合わせることはできないと、勝利には結びつかないのです。メンバーの良いところを認め合い、信頼し合って目標に向かって進まなければ強いチームになることはできません。大谷選手は、仲間の信頼を得るためには高い「人間性」が必要になると考え、目標として設定したのだと思います。

「認め合い、学び合う」ことは、人と人とのつながりがあり、同じ目的をもつ集団が無ければ成立しにくいことだと思います。コロナ禍で、リモートやオンラインでの学習方法がクローズアップされ、学校の存在意義が問われる機会が増えてきていますが、今こそ、学校で学習する意義を感じられるように、子どもたちとともに、学校教育目標である「認め合い、学び合う子」に向けて努力していきたいと考えています。